

生活創造空間

にし

NISHI

～アンラシネを目指します～

第30号 2016年10月20日発行



屋上の秋

第3地区フェスタ!

第7回第3地区フェスタ実行委員長

村田 雄一

10月1日(土)に、第7回目となる、第3地区福祉フェスタを開催いたしました。今年は、あいにくの雨空となりましたが、多くの方々に足を運んでいただきました。生活支援センター西/藤棚地域ケアプラザ/ゆめづくり三番館/つむぎ子ども教室/みらい工房西/さらい工房/ガッツ・ビーと西/エヌ・クラブ/の8団体で企画・運営を行い、当日は、第3地区懇談会、百屋、菜月、H&F、西区子ども家庭支援課の皆様にも参加していただきました。さらに今年は、三浦市から、三浦創生舎が新たに加わり、賑やかなフェスタとなりました。

華を添えてくれたのは、にしまるちゃん、キャッピー、ほっしー、ウサギ、トラ、パンダ、フタの着ぐるみ達でした。こんなに沢山のキャラクターに会えるのは、第3地区福祉フェスタだけではないでしょうか。

ムーミンの会の園児&児童によるソーラン節・けん玉の披露で幕を明け、藤棚茶房+ドルチェ(合唱)/音のりぼん(演奏と合唱)

無限音工房(歌)/ゆめづくり三番館(演奏とダンス)/おどるなつこ(タップダンス)/朗読の会 あすなろ(朗読)による発表していただきました。併せて、生活支援センター西/みらい工房西/つむぎ子ども教室/ガッツ・ビーと西の4団体による展示会も行いました。皆さんがこの日の為に一生懸命に制作、練習して下さった成果や想いを思う存分発揮していただき、それが多くの方々に伝わり、魅了してくださいました。

午後は5階でドキュメンタリー映画「逃げ遅れる人々」の上映を行ないました。東日本大震災から早や5年が経ち、今年は熊本地方での地震もありました。復興が進まない現状、それを風化させずに、私たちに何ができるのかを、改めて皆で考える機会となったのではないのでしょうか。

個人的になってしまいましたが、初めてのフェスタ参加が実行委員長という形で迎え、不安がたくさんありました。その中で、実行委員メンバーの皆様をはじめ、地域の皆様、ボランティアの皆様、当日お越しいただいた皆様、テントなどの備品を快くお貸し下さった町内会、小学校など、本当に多くの方にご協力いただき、無事に開催する事ができました。人とのつながりを実感することができる素晴らしいイベントでした。ありがとうございました。

また、来年もよろしく願いいたします。



ご参加頂いた皆様の声！！

今回はゆめづくり三番館もステージの発表に参加させていただきました。
参加された利用者さんの楽しみが増え、またこんなことができたんだと自信をつけた方もいました。フェスタを通じて人生の幅が広がったのかなと感じました。

ゆめづくり三番館・露木

素晴らしいステージに感動！来年はつむぎも
ステージの一角を占められるよう努力します。
つむぎ子ども教室・官林



「沢山の方々と交流が出来、楽しい時間を
共有できたと感じています。」

生活支援センター西・西嶋



フェスタでは、来場者の方々の笑顔を多く見ることが
でき、地域の方々と交流できる貴重なイベントだと感
じました。

エヌ・クラブ 吉田



雨の中、大勢の方に参加していただき、楽しかったと
いう声をたくさん聴くことができてよかったです。

エヌ・クラブ 日野



来場者の皆様が楽しんでいる様子や笑顔を間近で感
じられ、楽しむ側だけでは感じられない良い経験をさ
せていただきました。

エヌ・クラブ 平子



うさ男の「釜石・大槌レポート」

西区地域自立支援協議会・案内人（うさぎ？）にうさ男が一人で釜石市・大槌町に伺ってきました。前回と同様に南三陸町・陸前高田市・大槌町に立ち寄り、震災から5年以上経った、現地の様子をレポートいたします。

（南三陸町・防災センター）

（2015. 12. 4）



（2016. 9. 9）



写真では分かりにくいですが、前回訪問時には正面に献花台が設置されていました。今回訪問時には盛り土が迫ってきており、正面には回ることができませんでした。南三陸町全体でもかなり土が盛られており、風景がかなり変わっていました。

（陸前高田市）

（2015. 12. 4）



（2016. 9. 9）



陸前高田市の様子。ベルトコンベア解体は終了しているが、かさ上げの様子は約1年前とあまり変わっていない。

かさ上げ事業の終了は2018年とまだ先であることもあり、どのくらいの方々が地元に戻られるか、疑問が残る。

（大槌町）

（2015. 12. 4）



（2016. 9. 9）



（2016. 9. 9）大槌町中央公民館付近より撮影



大槌町は、昨年訪れた時よりかなり整備が進んでいる様に感じました。電柱の数が様子の違いを物語っています。ちょうど訪問した翌日（9月11日）の朝日新聞に大槌町の事が載っていました。

『東日本大震災で市街地が壊滅し、かさ上げ工事で再建を進める岩手県大槌町で、住宅再建の意向を示している世帯数が区画数の4分の1にとどまっていることが明らかになった。震災から5年が過ぎ、被災3県では宅地造成の縮小も相次いでおり、復興計画の見込み違いが浮かび上がりつつある。町長を含めて1285人が死亡・行方不明になった大槌町は、約160億円をかけて市街地約30ヘクタールを平均2・2メートル高くして次の津波に備える工事を進める。2018年3月までに510区画の宅地を造成する計画で、9月までに45%が完成した。』

町は8月、市街地の再建予定を示す地図を全戸配布した。住宅を自力再建する意向の地権者は区画数の25%にあたる128世帯だった。』

復興工事の集中、東京五輪関連の建設需要で資材や人手が不足し、完成予定は1年以上延びて2018年3月になっているとも書かれています。被災3県の県外避難者は8月現在で4万7999人にのぼっています。復興の遅れが人口減、ふるさとへ戻らない選択を決断する状況を招いているようです。

釜石到着後は、新しくできた事業所、「相談支援事業所ライトハウス」にて、2016年度、「姉妹自立支援協議会として何ができるか」、の打ち合わせを実施しました。その中で話した内容としては、

- ・ 昨年度同様、10月29日（土）に行われる「釜石ふれあい祭り」にて西区地域自立支援協議会・販売委員会に参画している団体の商品を購入頂き、販売して頂けることとなる。
釜石・大槌の商品、西区の商品についての意見交換も実施。
- ・ 2016年度のお互いの協議会の動きについて、資料を元に情報交換を行う。
- ・ 協議会同士の交流研修を2年行ってきている。今年度も実施の方向で確認する。内容については、今後、検討していく。案としては、
 - ◎ 今回はお互いの中間地点（福島あたり）で研修会を実施するのはどうか？
 - ◎ 津久井やまゆり園の事件について、お互い意見交換の場を設ける。
 - ◎ 当事者交流の実現。
 - ◎ 「地域生活支援拠点」についての研修（釜石より）
 - ◎ 「相談支援」について
が出される。

最後に、次回以降、協議会の他のメンバーも釜石に来れるよう、調整していくことを約束し、打ち合わせを終了しています。今までは「防災」に絡んだ「被災地」からの発信といった関わりが中心となっていましたが、今後は「人」のつながりを軸に、姉妹自立支援協議会を継続していくことを考えていきます！



うさ男

障がい当事者の思い・言葉を聞こう③

～ 地域で育ちあう、暮らしあう、生きあう～

就労サポートセンター エヌ・クラブ 市井 美沙

今年度「地域で育ちあう・暮らしあう・生きあう」をテーマに行っている生活創造空間にし研修も第三回を迎えました。9月24日に行った今回は、昨年度のアncールにお答えいただき、町田にある『とびたつ会』の方総勢30名の方たちが、歌にのせて、それぞれの思いを聞かせてくださいました。

進行も当事者の方が行われており、当日の自己紹介、曲紹介はもちろん、作詞等もご本人たちの生活や思いをつづったものが多くありました。笑顔で歌っている方、身振り手振りを交えて歌う方、マイクを傾けられると口を大きく開けて歌う方とそれぞれの表現の仕方でも楽しく歌っている姿にとても感動しました。

進行の中でご自身の紹介だけでなく、思いを伝えてくださる方もいて、その中には、日々の支援に対する不満をストレートにお話しされたり、相模原の事件に対する思い、障害者への正しい理解を切に願う気持ち等をお話してくださる方もいらっしゃいました。その言葉が心に刺さり、私自身も一支援者として背筋がしゃんとしました。

アncールを含めた全21曲、みなさんの歌のパワーに圧倒され、元気をもらいました。生憎の天候で昨年に比べ、研修参加者が少なかったことは残念でしたが、それでも『とびたつ会』の皆さんは昨年よりもパワーアップされていて、生活創造空間にしの事業所にちなんで♪ガッツ&ビート♪という新曲までご用意してくださいました！！（次回は、♪エヌ&クラブ♪という新曲をお願いしました！笑）



子どものころ 話せなくて
友だちから からかわれた
練習して いまはちゃんと
はなせるのに つづく差別
みとめられたい はなしがしたい
きもちかよわす 仲間がほしい
はなすことは たいへんでも

つたえたい わたしの気もち /歌詞：「わたしぬきできめないで」2番より



***次回は、11月17日(木)18:30～「認知症と統合失調症」をテーマにあさひの丘病院 精神科医玉澤先生をお迎えしてお話を伺う予定です。詳細は館内等のチラシで追ってお知らせいたします。**

たくさんの方々の参加を切に願っています。奮ってご参加ください。

～真打への道～

関東の落語家の方は、大体が「落語協会」か「落語芸術家協会」に所属していて、他には円楽一門や落語立川流があるそうです。

見習い（前座見習い）から前座、そして二つ目。二つ目とは達磨に二つの目を入れられるほど、芸が開眼したという意味合いもあるということです。

さらに、真打。「(蠟燭)の芯を打つ」から転じたといわれています。

蠟燭は江戸時代の室内照明で、それを打つ、消すのは最後に上がる出番の落語家が演じ終わってからである。つまり主任（とり）のみが消すことができるとして、芯を打てる、真打になったということだそうです。

そして名だたる名人を目指すことになります。

この度は桂夏丸兄さん、二つ目から真打狙いをはっきりと表明？されていたと思います。そんな兄さんに大いなるエールを送り、心底応援したいと思います。

もちろん春雨や風子さんと同じ様に応援しています。次回の「にぎわい&にしよこ寄席」には、是非お二人揃って、真打としての高座をつとめていただきたいと思う次第です。（松乃家 ふくかん）



桂 夏丸師匠



春雨や 風子師匠

ステーション邂逅Vol.19開催!

2016年10月13日 18:00~20:00

生活創造空間にし秋と言えば!

管弦四重奏「アルテム」のみなさんの演奏ですよ!

すっかり定番となった秋の夜長と「アルテム」さんの夜コン!

地域のみなさんも楽しみにして下さっていることと思います。

クラシック音楽と聞くとちょっと敷居が高いように感じますが、

楽曲の解説をしてくださるので、曲に込められた物語を知り、

時に笑い、時には参加(今回はみなさん犬の声で参加!)して

身近で楽しいクラシックを味わっていただけたと思います。

次回もお約束しましたので(笑)、今回聞き逃した方は次回、

ぜひお越しください。



ごめんなさい。記念すべき30号で初のお休みです。スランプか?!(腹ぐろーる)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)